長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	３２１

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン・工芸」、作品の意図、表現の工夫や効果を考える「鑑賞」の分野について学習します。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２ 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子
	空間を自由に飛び回ろう	【絵画】【デザイン】 ・空間構成 漢字二文字でテーマを決め、球、直方体、円錐の形体を使って、空間を自由に構成する。		○	○		b:画面構成やバランスを考え、創造的な表現を工夫している。 c:創造的な美術の表現をするために、意図に応じて、表現方法を工夫している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
	環境について考えよう	【デザイン】 ・「美しい町にしよう」 「美しい町にしよう」というテーマではがき絵を描く。		○	○		b: 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c:創造的な美術の表現をするために、意図に応じて、表現方法を工夫している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
2学期	どっちが本物？ 油絵で挑戦	【絵画】 ・油絵で模写 教科書から指定した数点の作品から1点選び8号キャンバスに模写する。	○		○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 c:必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 d: 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート

2学期	グラデーションによる色彩構成	【デザイン】 いくつかの条件で画面を構成する。 水性絵の具を使って様々なグラデーションを表現する。	○ ○	○ ○	○ ○		a：デザインの創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、主体的に表現活動に取り組もうとする。 b：想像力を働かせ、目的や機能、美しさなどから創造的な表現の構想を練っている。 c：意図に応じて、表現方法を工夫している。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート
3学期	オリジナル木工砂時計を作ろう	【工芸】 アイデアスケッチ 下書き、トレース 電動糸鋸、彫刻刀を使って成形 サンドペーパー、ニスを使って仕上げ 作品鑑賞	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：オリジナルな作品作りに関心を持ち、新しい物を作る喜びと意欲を持って取り組もうとしている。 b：想像力を働かせ、目的や機能、美しさなどから創造的な表現の構想を練っている。 c：創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 d：工芸作品の表現の工夫などを理解し、その良さや美しさを味わっている。	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。